

2020年1月16日より多言語対応ロボットを活用した
観光案内サービス「ロボナビ」の運用を北九州モノレール小倉駅で開始します。

北九州高速鉄道株式会社(代表取締役社長:齊藤 淳)、株式会社コンピュータサイエンス研究所(代表取締役社長:林 秀美)は、2020年1月16日(木)より、北九州モノレール小倉駅にて、多言語に対応するコミュニケーションロボットを活用し、北九州市小倉を訪れる観光客への新たな情報提供による満足度向上・コミュニケーション強化を目的とした観光案内サービス「ロボナビ」の運用を開始します。

1. 概要

北九州モノレール小倉駅東口の券売窓口内※1に、コミュニケーションロボット「Sota®」※2を設置し、駅構内の案内や、周辺施設、観光スポットを多言語【日本語、英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、韓国語】で案内します。

※1 具体的な設置イメージは、末尾地図等をご参照ください。

※2 「Sota®」はヴァイストン株式会社の登録商標です。

2. 実施内容

- (1)「Sota®」とタブレットの連携による、観光情報・施設情報等の案内
- (2)「Sota®」との自然対話による音声案内
- (3)北九州市観光情報サイト「ぐるリッチ」との連携による観光情報提供

実施内容イメージ



本機能は株式会社コンピュータサイエンス研究所の「ロボナビ®」※3、地図は株式会社ゼンリンの地図データをベースにしている、株式会社ゼンリンデータコムが多言語地図「日本語」「英語」「中国語簡体字」「中国語繁体字」「韓国語」を使用しています。

※3 「ロボナビ®」は株式会社コンピュータサイエンス研究所の登録商標です。

3. 期間

2020年1月16日(木)から

4. 対応言語

日本語、英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、韓国語

5. 本件に関するお問い合わせ先

・北九州高速鉄道株式会社 総務部 営業課 TEL:093-961-0103

以上

【設置場所地図】



▲コミュニケーションロボット「Sota®」